

Beatrice

ベアトリーチェ・ラナ

イタリア半島南部のヒール部分に位置し、2000年以上の歴史を有する古都レッチェ。古 来、ギリシアとの交流も盛んでバロック様式の建築物が立ち並ぶこの町でベアトリーチェ・ ラナは生まれ、18歳までを過ごした。ラナの音楽に色濃くただよう光と影の交錯、太陽の 匂いは、この土地と密接に関連しているように感じられる。

それにしても、何ともパッショネートなピアニストだ。音楽に生命力が漲っている。とい うより体から溢れ出た生命力が音楽の衣をまとって飛翔していくイメージといった方が適切 か。前回のJ.S.バッハの《ゴルトベルク変奏曲》も、様式感云々などと、つい真面目に議論 しがちな私たちの傍らを、軽やかに颯爽と走り抜けていった。

ヴェルディをはじめとするイタリア・オペラのようなパッション、これこそ彼女の最大の 特徴、魅力だろう。そして、ファビオ・ルイジ、パッパーノ、ノセダ、シャイーといった名 オペラ指揮者たちが、彼女を高く評価し連れて歩くのも、ここに起因しているに違いない。 したがって、同じイタリアのピアニストといっても、北イタリアに生まれ、造形美に惹かれ るミケランジェリや、ポリーニとはかなり異質な血が流れているといえそうだ。

今回のプログラムも、冒頭の《イタリア協奏曲》から最後のストラヴィンスキーに至るま で、見事に「情熱 (パッション)」を1つのキーワードとして、結ばれてはいないか。アル ベニスの《イベリア》も、シューマンがベートーヴェンの《熱情》ソナタを意識して、調性 まで揃えて作曲したという第3番のグランド・ソナタも、《ペトルーシュカ》からの3楽章も、 「情熱」の種類は様々なれど、熱い思いが通底しているようだ。

とはいえ、ステージで練習している彼女を見ていると、気儘なようでいて、なかなかに緻 密、様々な要素が絡み合い、見事に融合していることがよくわかる。それゆえ、J.S.バッハ のような構造的な音楽に強く惹かれるのだろう。YouTubeなどで近年の演奏を耳にしていた だければ、彼女の魅力の一端が実感できるはずだ。

ラナは、まだ20代半ば。今後、いかようにも変われる未知数の可能性を秘めている。だ からこそ、二度とない、今、この瞬間のラナをしっかりこの目と耳に焼き付けておきたい。 実におもしろく、奥が深く、興味をそそるピアニストだ。

プログラミング・ディレクター 西巻 正史



ゴルトベルクに次ぐ第

トッパンホールWEBチケット http://www.toppanhall.com/ トッパンホールチケットセンター 03-5840-2222 チケットぴあ 0570-02-9999/ローソンチケット 0570-000-407

会員優待割引およびセット券は、「トッパンホールWEBチケット」「トッパンホールチケットセンター」でお申し込み頂けます。 *学生券(席の限定有)は、トッパンホールチケットセンターで販売いたします。*未就学児のご入場はお断りいたします。 *託児サービス【要予約・有料】:公演日1週間前までにイベント託児・マザーズ 0120-788-222 [10:00~12:00, 13:00~17:00(土日祝休み)]へお申し込みください。

※やむをえず、曲目・出演者などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。 ※開場は開演の30分前となります。

交通のご案内

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分

飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分

地下鉄丸ノ内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分 後楽園駅

[上69][飯64]「大曲」または「東五軒町」下車徒歩約3分 ※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

トッパンホール 〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515 http://www.toppanhall.com/

泣いたり、笑ったり、 感動する時間が 必要だと思う。

♪その 「ドキドキ」 が、品質です ♪

(安藤ハザマも建設に携わったトッパンホールで体験してください。)



☑ 安藤八ザマ

株式会社 安藤·間

東京都港区赤坂六丁月1番20号 TEL:03-6234-3600(代表) http://www.ad-hzm.co.jp/